

2016年度 岡山県学童保育連絡協議会



第39回 総会

2016年 5月21日(土) 14時00分～16時00分

真庭市落合総合センター 2F 第2会議室

■ 総会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
 - (1) 2015年度 活動報告
 - (2) 2015年度 決算報告及び監査報告
 - (3) 2016年度 活動方針等
 - (4) 2016年度 予算
 - (5) 2016年度 役員体制
5. 議長解任
6. 副会長あいさつ
7. 閉会



■ 総会出席者

各市出席数		各市出席数		その他出席数
岡山市	(名)	瀬戸内市	(名)	
倉敷市	(名)	美作市	(名)	
総社市	(名)	真庭市	(名)	
浅口市	(名)	津山市	(名)	
矢掛町	(名)			
				合計 :
名				

(1) 2015年度 活動報告

《活動のまとめ》

1. よりよい学童保育づくりに必要な活動と組織を作っていきます。

- 1) 各地域連協の組織を拡大・充実に支援し、加盟クラブ数の増加を目指します。
- 2) 各地域に必要な地域連絡協議会作りやネットワークづくりを支援します。

4つの地域連絡会体制で活動を進めました。学童保育の仕組みや市町村連絡会の成り立ちの違う中で、地域の状況に応じて活動を工夫しました。

■岡山地域連絡会では岡山市連協を主体とした活動を行い、12/6に学童保育フォーラムを実施しました。

■備中地域連絡会では、連携ミーティングと研修・交流会をそれぞれ1回ずつ行い、矢掛町で全クラブ参加の町連協が発足、浅口市も全クラブ参加の市連協が2016年6月に発足の運びとなりました。

■倉敷市連協では地道な会員拡大の取り組みが進められました。

■東備地域連絡会では、既存のネットワークや新たに誕生したネットワークとともに指導員と保護者がともに学ぶ機会をつくりました。

■県北連絡会では、新制度についての学習と交流を行い、指導員への研修機会を作りました。

■美作市の指定管理事業者変更にあたって相談や支援を行いました。

2. 岡山県の学童保育の質的向上に向けた取り組みを行います。

- 1) 継続した国や市町村の施策に関する情報交換や情報提供、学習会を行います。
- 2) 行政や他団体と協働や補完しながらの指導員の研修や学びの場を提供します。
- 3) 運営者や保護者の学びや情報共有の場を設けます。
- 4) 子どもの育ちや学童保育そのものを広く市民ともに考える機会を作ります。

■厚生労働省の関係者を招いての「国の担当者にきいてみよう！第2弾」として新制度の学習会を岡山と津山の2カ所で開催しました。保護者、指導員、運営者、行政担当者など幅広い参加者がともに学ぶことができました。

■12月に岡山市で開催した「学童保育フォーラム」では、子どもにとっての「遊び」について深めることができました。

■6月の総会での各地の活動報告、8月に企画した初の県連協地域交流会等、各地の状況を交流する場を設けました。

■2016年6月開催の全国学童保育指導員学校西日本岡山会場の準備を進めています。

■NPO、企業、行政との協働で、2014年度に実施した「学童保育プレハブ-6℃作戦」が成果を上げ、2015年度には県内へ広がり、「2016低炭素杯」にて、「審査員特別賞」を受賞し、学童保育施設の充実にアピールすることができました。

■首都大学東京大学院人間健康科学研究科作業療法科学域の「学童保育における障害をもつ児童の受け入れと状況とリハビリテーション専門職による支援ニーズ」アンケート調査に協力し、次なるモデル事業の企画へとつながりました。

3. 東日本大震災の復興・復旧に向けて継続的な支援活動を継続し、学童保育の度台を支える施設、労働環境などに対する改善や支援を行います。そのために全国学童保育連絡協議会や他の関係団体と連携していきます。

全国連絡協議会を通じて東日本大震災の復興・復旧支援を継続しています。2015年度、全国連絡協議会から新たな役員の立候補の呼びかけがありましたので、岡山県連協として立候補し、角野いずみを送り出しました。地方での学童保育に関する取り組みや要望をより一層強く反映させていきたいと考えています。

4. 「日本の学童ほいく」誌の普及拡大に向けて取り組み、活用して保護者、指導員、運営者のネットワークを作ります。

安定した購読を続けています。積極的に取材や寄稿に応じました。ネットワークがうまく機能する仕組みづくりを工夫していく必要が見えています。

2015年度 岡山県学童保育連絡協議会 活動報告

月	全 体	岡 山	備 中	東 備	県 北
4	5小全国運営委員会（芦屋）				
	11～12全国運営委員会（東京）				
	28役員会（総会準備）				
5	1事務局会議（総会資料）	10総会・学習会		29東ブロック研修	
	9～10全国合宿研修（大阪）				
	14岡山県との懇談会	指導員部会全体会			
	27全国要請行動				
	28事務局会（総会資料作り）				
	31全国指導員学校（西日本・芦屋市）				
6	7総会	専門性講座・指導員部会	倉敷市連協総会	19東備地域交流会	
	19学習会「国の担当者についてみよう」岡山市	専門委員会(しょうがい児)	総社市連協総会	19瀬戸内市連協総会	
	20学習会「国の担当者についてみよう」津山市	市連通信「さんしょくだんご」発行		23東ブロック研修	
	28全国指導員学校（四国・高知市）				
7	4事務局・役員会議・	8岡山市担当課懇談	2備中地域連絡会		
	20全国小運営委員会	11・12政令市交流会(北海道)	連携ミーティング		
8	岡山県との懇談	19・20ドッジボール大会			
9	5～6全国運営委員会	専門性講座・専門委員会		13子育てキャラバン隊in瀬戸内	
	8事務局会議	10組織拡大(講師:齋藤氏)			
	12世話人学習会	指導員部会(防災)			
10		市連通信「さんしょくだんご」発行	2備中地域連絡会	30東備地域支援員交流会	9フォローアップ研修
	真田さんご苦労様会	25しょうがい児学習交流会	研修・交流会		24岡山県担当施設見学
		ブロック交流会			23美作市指導員会学習会 30真庭市連絡協議会と行政との懇談会
11	6全国学童保育連絡協議会総会	1岡山市わくわくこどもまつり			27黒北地域連絡会津山市支援員交流会
	7～8第50回全国学童保育連絡協議会（大阪）	専門性講座			21真庭市河内地区学童保育を作る会
	14事務局会議				
	26役員会議				
	全国要請行動				
12	5～6全国運営委員会（東京）	合同広告説明会			
	6学童保育フォーラムin岡山	専門性講座			
	13全国指導員学校四国準備会（高松）				
1	10中四国ブロック交流会			13瀬戸内市議養成研修	
	11小運営委員会（京都）			21研修会「支援員のチームワーク・支援員が成長するクラブ」	
	20事務局会議				
2	1役員会議			23東ブロック研修会	27県北エリア交流
	6～7全国運営委員会（東京）			26東備地域支援員交流会	
	10指導員学校準備会				
3	25事務局・役員会議	9指導員会全体会			4フォローアップ研修第2弾

①地域活動報告書（2015年度）

地域名	岡山地域連絡会
メンバー	岡山市・吉備中央町・玉野市
目的	地域の保護者、指導員が一同（または、地域別）に集い、交流し、情報交換する
活動概要	<p>■4月：指導員の実践報告学習会（岡山市連協主催/生涯学習センター）</p> <p>■通年連続：専門性講座開催（岡山市連協主催/きらめきプラザ他）</p> <p>■11月：全国学童保育研究集会の案内（全国連協主催/大阪市）</p> <p>■12月：学童保育フォーラム2015in岡山（県連協主催/岡山市・中国学園大学）</p> <p>以上の開催を連協内外への団体・単位クラブへ案内し、広く参加を呼びかける。</p>
2015年度の活動報告	
<p>子どもを守り、育てていく為に全市の要求の一致する他団体と連携した運動をすすめた。岡山地域連絡会（主に岡山市連協）として、全国連協・県連協（役員選出）・岡山市児童クラブ連合会（本年度は懇談会は未開催）等と、問題課題を共有し改善のための連携に取り組んだ。</p> <p>◇全国指導員学校（5/31 西日本会場（兵庫県芦屋市）※講師派遣）への積極的な参加を呼びかけた。</p> <p>◇全国学童保育研究集会（11/7・8 大阪市・なみはやドーム・大阪市立大学）への参加を呼びかけた。</p> <p>◇厚生労働省説明学習会（6/19 県連協主催）への参加を呼びかけた。</p> <p>◇学童保育フォーラム（12/6 県連協主催）への参加を呼びかけた。</p> <p>東日本大震災への支援カンパを訴え、被災地への支援に取り組んだ。</p> <p>◇総会・学習会、市連協主催ドッジボール大会にて「支援カンパ箱」を設置し募金を集め送金した。</p>	
<p>活動概要のまとめと今後の方針</p> <p>2016年度は、</p> <p>①各地域と連携し、細やかな研修を充実させる。</p> <p>②岡山市連協としては「学童保育を学ぶ会」を連協内諮問機関として設立し、学童保育関係者がともに学ぶことを軸にして、組織拡大にも努める。</p>	

②地域活動報告書（2015年度）

地域名	備中地域連絡会
メンバー	笠岡市・井原市・浅口市・里庄町・矢掛町・総社市・高梁市・早島町・倉敷市
目的	<p>学童保育が新制度の下、より良く変化していくことを伝え、情報源となる県連協への加盟を促し、仲間を増やす。</p> <p>他市町村と足並みをそろえるうえで、情報交換の場とする。また、他の情報源として学童保育誌の普及を行う。</p>
活動概要	<p>7月10日 備中地域連絡会 連携ミーティング 参加者：7名</p> <p>10月2日 備中地域連絡会 研修・交流会 参加者：28名</p>
<p>◇矢掛町が全クラブ加盟での町連協となった。</p> <p>◇浅口市が全クラブ加盟で浅口市連協の立ち上げとなった。 2016年6月に設立総会を行う予定。</p> <p>◇里庄町も全クラブ引き続き岡山県連協に加盟する。</p>	
<p>活動概要のまとめと今後の方針</p> <p>2016年度は、</p> <p>①備中地域連絡会 研修・交流会を年1回、開催。</p> <p>②連携ミーティング(情報交換会)を年に数回、開催。</p> <p>③連携する中で、各市町村の特徴や現在困っていることなどを出し合い、市町村で助け合える関係を築き、課題を解決していく。</p>	

③地域活動報告書（2015年度）

地域名	東備地域連絡会
メンバー	瀬戸内市連協・備前市・赤磐市・和気町
目的	交流・学習・設置運営基準の制定・ほいく誌拡大
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員交流会で自主的学習 ・交流、学習 ・保護者、放課後児童クラブに携わる関係者向け研修会の開催

2015年度の活動報告

- ・東備地域としての活動は、昨年同様、学期に一回支援員交流会での自主学習を行った。自分たちが学びたいテーマについて資料を持ち寄って交流や検討会し各クラブの実態や悩みについて交流した。
- ・瀬戸内市連協では、学期に一回の交流会で、各クラブの問題、課題解決に向けて他クラブへの助言や提案をしていく中、専門的な講師を呼んで学習会を開いたりした。
- ・東備地域保護者・支援員・行政（担当課）に向けた、運営についての研修会も開催。

活動概要のまとめ

◇東備地域支援員研修

- ・学期に1回だと、なかなかその場のみの交流会になってしまう連帯感がまだまだうまくない。会を増やしていくべきか検討していきたい。
- ・一人ひとりの発言・意見で内容が濃いものになるかと思うが、経験年数等なかなか発言できない支援員もいるので研修の見直しも必要と感じた。

◇瀬戸内市連協

- ・会長・事務局の役員を変えてスタート。と同時に県の支援員資格の研修会が始まり、集まる回数も少なかった。交流会時にはクラブの現状を把握しながら、担当課に話をしに言ったりした。3月交流会では平成28年度支援員研修・保護者研修でどのような内容をしたいかアンケートを実施した。

◇平成28年12月…瀬戸内フォーラム実行委員会設置し、内容・概要を決定していく。

今後の方針

- ・東備地域支援員研修⇒昨年同様自分たちがまなびたいテーマで学習会をする。
- ・各地域のベテラン支援員の会を開催する。
- ・瀬戸内市連協事業活動⇒6月指導員学校の呼びかけ・スタッフ協力
- ・12月学童保育フォーラム開催の計画をする。
- ・学期に一度の交流会及びアンケートに沿って研修会、他地域クラブ見学会（保護者・支援員・放課後児童クラブに携わる関係者）
- ・瀬戸内市放課後児童クラブ全体の底上げ、行政と担当部局と密に協議し、前進させていきたい。
- ・東備地域の保護者の学習・交流会を持つ。

④ 地域活動報告書（2015年度）

地域名	県北地域連絡会
メンバー	津山市・真庭市・美作市・新見市・鏡野町・勝央町・奈義町・美咲町・久米南町・西粟倉村・新庄村
目的	・地域の保護者、支援員が一同（または、地域別）に集い、交流し、情報交換する場としての交流会を企画・立案・実施する。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童クラブの育成と活動の充実を図るため、県北地域（4市5町2村）を中心に 学習会などを開催し、地域との交流や情報交換を行った。 ・新制度に伴う学習会を行い、新制度への理解や必要な体制についての話し合い。 ・交流を深め、会員を増やす。

2015年度の活動報告

●6月20日：研修会「国の担当者にくてみよう！第2弾」 厚生労働省の学童保育担当者を講師に招き、保護者・支援員・学童保育関係者が新制度について学びました。

参加者 56人 8市町村からの参加

（津山市・真庭市・美作市・奈義町・鏡野町・和気町・瀬戸内市・岡山市）

運営者・支援員…36人/行政…6人/議員…6人/保護者…7人/学生…1人

●10月9日：フォローアップ研修「育成支援の目標や計画を作成し、保護者と共通の理解を得られるようにする」（真庭市） 参加者 45人

●2月27日：県北エリア交流「新制度、どう学童保育変わった」県北エリア語る会

参加者 32人（津山市 24人・美作市 4人・真庭市 4人）/保護者…21人/支援員…10人

●3月4日：フォローアップ研修第2弾「保育計画を書いてみよう」（真庭市）

参加者 39人

活動概要のまとめと今後の方針

2016年度は、各地域と連携し、細やかな研修を充実させたい。

(3) 2016年度 活動方針及び規約改正等

《活動方針》 (案)

1. 組織を拡大します。

学童保育の充実にとって必要な組織となり、会員の拡大を目指します。

2. 学童保育の質の向上を向上するための学習、交流を行います。

① 運営主体②指導員③保護者、それぞれの課題に応じた学習や交流の機会を設定します。

3. 情報発信をし、学童保育の役割を浸透させます。

ホームページを改善し、広く市民や関係者の学童保育に関する情報を発信します。多様な形の学童保育が誕生してくる中で、子どもたちの成長にとって、また、保護者や地域にとって大切にしたいことを知らせていきます。

4. 効果を上げる組織を作ります。

法人格の取得、役員体制、会計年度、財政基盤など、さまざまな面から検討し、無理なく活動でき、効果のあがる組織をつくります。

《活動計画》 (案)

全 体	
4	9～10 全国運営委員会 (東京/糸山・角野)
	9 全国学童保育連絡協議会 50 周年祝賀会 (東京/糸山・角野)
	1 1 役員会
	3 0 事務局会議
5	1 全国小運営委員会 (大阪/角野・三村・小野)
	1 3 指導員学校実行委員会
	1 4～1 5 全国合宿研修・全国運営委員会 (愛知/糸山・角野・三村・船曳)
	2 1 総会 (真庭市)
6	1 2 全国指導員学校 (西日本・岡山)
	2 6 全国指導員学校 (四国・徳島)
	1 8 全国小運営委員会 (京都/角野)
	事務局会議・役員会
8	岡山県との懇談会
9	全国運営委員会 (東京)
	事務局会議・役員会
	世話人学習会
10	第 5 1 回全国学童保育連絡協議会 (愛知)
11	全国要請行動
	事務局会議・役員会
12	全国運営委員会 (東京)
1	全国小運営委員会・中四国ブロック交流会
2	全国運営委員会 (東京)
3	事務局会議・役員会

※備中県民局事業